

# 療育研修会実施状況 北海道支部 参加数 20名

テーマ：◆筋ジストロフィーの治療研究と臨床試験実施体制について  
◆神経筋疾患の呼吸ケアについて

講師： 医師 木村 隆

看護師 藤信 真吾

実施場所：ロワジールホテル旭川



※ 写真は  
撮影を

かる様に

※ 写真サ  
(大きい  
しな

り

※ 写真は  
(セロ

実施を終えて（感想等）

参加者の感想等、必ず記入して下さい。

ニュース、新聞で最近万能細胞等が取り上げられ、興味があって参加しました。

普段生活してはわかりませんが、確実に医学は進歩しているんだと今回の

研修に参加してつくづく感じました。呼吸器ケアについても実際に呼吸器を

使いながら説明をしていただいたのでとてもわかりやすかったです。

※ 写真は、日本財団に提出する事業完了報告書に添付いたしますので、  
日本財団関係の書類に載る場合もあります。

※ 撮影の際は、参加者の方にご了承をいただくなどその点には注意してください。

## 療育研修会の内容を記入

近年の分子遺伝学の進歩により筋ジストロフィー症の殆どの病型の遺伝子変異が発見

され、また、分子生物学の進歩により様々な技術が治療に応用できるようになり、

今までにない新しい治療方法や新薬候補が考案されるようになりました。「遺伝性神経

難病」の中では最も研究の進んだ難病となり、治療研究にはまだこれから様々な困難が

あります。国立精神・神経センターと米国チルドレンズ・ナショナル・メディカルセンターの

共同研究チームは、世界的に最も頻度の高い致死性の遺伝疾患のひとつであるデュシェンヌ

型筋ジストロフィーに対する「マルチ・エクソン・スキッピング治療」により、

筋ジストロフィー・モデル犬の症状の改善に世界で初めて成功した。デュシェンヌ

型の患者さんの一部ではありますが、治験への道筋が出来た事は大変喜ばしい事である。

---

---

---

---

---

---